

船を漕ぐ



令和7年2月14日(金)

☆学級づくり☆

今年度も残すところ約1ヶ月となりました。今年度をふり振り返りながら、学年のまとめを始める時期に差し掛かっています。

5月の研究だよりで、“今年度は「どうすればしなやかに思考し、表現することができるのか」をテーマに”とお伝えしましたが、1学期、2学期と学期を重ねるごとに、子ども達のしなやかさをたくさん見つけることができました。学年による発達段階はありつつも、自分を知ろうとする「自己理解」の力、粘り強く学びに向かう「問題解決」の力、そして、人との関わりを大切に学ぶ「他者理解」の力。様々な場面で認め合い、そして共有したことを実践していくことが、子ども達が主体となって学級をつくる姿へと繋がっていくのではないかと思います。

3学期の学年のまとめにも、子ども達の声がどんどん広がって欲しいです。



6 年生

Challenge

～自ら動きだし、未来を創造する61人へ～

最高学年として、学校生活の様々な場面で学校中心として活躍していくために、自分自身に何ができるのか、61 人の力が合わさればどんな新しい世界が作れるのか、そんな願いが込められた学年目標。6 年生は各教科の学習はもちろんのこと、委員会やクラブ活動、ファミリーでの活動など一生懸命取り組んできました。

残り 70 日を切った 11 月。前半を振り返り、「卒業式の日『全力で Challenge したな！』と自分達で感じるために、残りの学校生活どのような行動が必要なのか」を再確認するアンケートを行ったところ、「もっと学級、学年で協力しないといけない」「最後まで下級生から憧れられる姿でいたい」「自分自身も学習、学校生活を見直さないといけない」など出てきたため、学年目標の達成に向けて学年の今後について話し合いを行いました。

その結果、学年目標を達成するために 8 つの要素、そしてそれを達成するための具体的行動を整理しまとめました。



12 月には 1 年生と計算やドッジボールの練習、1 月には大縄のリーダーを今までよりもして意識的に取り組んでいる姿が見られています。6 年生としての姿を見せるのも残り 20 日を切りました。「なりたい未来の自分、学級、学年の姿」を目指して最後の日まで Challenge！していききたいと思います。

態度を行動で表す。(言葉だけでなく行動で表す。)	小さなことでも、褒めたり感謝を伝える。	困っている人がいたら声をかける。(慰める。)
褒める時と注意する時のメリハリをしっかりする。(注意の仕方は優しい言葉づかいで。)	低学年から憧れられる	集会などの時に、見本になるような行動をする。(静かにしたり綺麗に並んだりする。基本的なことでも。)
低学年との関わりを増やす。(遊んであげたり、勉強手伝ったり。)	どんな人でも明るく優しく、接する。	低学年などができないことをパパッと済ませちゃう。